



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

志津南地区協働のまちづくり指標

全戸配布で意見求める 大多数が指標を容認

自治連合会は、昨年12月からのまちづくりの目標を示す「志津南地区協働のまちづくり指標」案を全戸に配布し住民の意見を求めました。意見は今年1月末に締め切られ、4人の方から意見が寄せられました。寄せられた意見とこれらに対する自治連の見解と対処を述べておきます。

【意見1】

押しつけでもなく、冷たくもなく、望む人には門戸を広げ、望まない人は静かに見守る、柔らかな人間関係が構築出来ればよいと考える。

隣人関係が希薄と孤独感を感じるという個人の価値観や生き方により見解が異なる点については、本当にそうなのか疑問に思われる。社会常識から判断できる公共面から論じるべきではないか。

個人の人生観によって多様な正解のない事柄については、望まない人に助け合いを強要したり、ルールで縛らないように。

(例えば、互助の精神は尊いが、静かに余生を過ごしたいと考えている人に対し、助け合いの名の下に過度の隣人関係を強要しては、逆効果が危惧される)

【意見2】

指標策定の方法論と推進方法について

現状と課題について主要項目50〜100項目あげて、満足度・必要度・同調度評価の全戸アンケートを実施し定量化して決めることを求める。

自治会、各種団体、同好会、ボランティアなどで柔軟に役割分担して推進する体制とされた。

【意見3】

路上駐車対策推進項目の追加
安全、安心なまちづくりのため、路上違法駐車を少しでもなくすよう、防災上などで特に必要な区間を定めるなどの方策を願う。

【意見4】

推進方針の表現を「……目指します」を「……話し合って進めます」にする。

【意見5】

指標に大分類として「具体的な推進対策」を設け、次の各項目を加える(要点は次の通り)。
あいさつを交わすことで希薄な近所付き合いをなくし、地域

社会での人間関係の構築を図ります。
話し合える場を多くする。

町内役員の研修会を開催し、「現状と課題・対策」について理解を深めます。

地域の各事業所等と連携し地域活性化の話し合いを進めます。

高齢者の生活を支援する地域支援ネットワークを話し合って作りま。

NPOを育成し、連携します。

寄せられた意見内容は以上の通りですが、これらに対し自治連は次のように対応してまいります。

意見1「指標の全体基調」に対しては、提言の趣旨を生かしてまちづくり指標(案)を次の通り修正する

1、本指標(案)は町の目指す方向を示すものであり、緩やかな・柔らかな人間関係を基本に支えあつて暮らせるまちづくりを進めるための指標に取りまとめる

2、記載表現は社会常識、公共面からみた表現にする。

意見2「指標策定の方法論と推進方法」に対しては、今回、「志津南地区まちづくり指標」について全戸の意見を聞いた結果、大多数の住民から理解了承が得

られたと判断し、再度アンケートの必要はないと考える。また推進方法、組織については、実施段階で個別指標に向けてみんなで協働して柔軟に取り組んでいく。

意見3「路上駐車対策」に対しては、安全・安心の推進で検討していく。

意見4「推進方針の表現」に対しては、本質的に差はなく原案通りとする。

意見5「具体的な推進対策」を設けるに対しては、指標はまちづくりの方向を示すものであり、具体策を盛り込むことは適切でない。提案の一部は指標(案)に含まれている。

自治連は平成21年4月からまちづくり検討委員会を立ち上げ、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して「協働のまちづくり」の推進に取り組んできました。当地域の自治会活動は、役員任期が1年で、少し分

かりかけた頃に交代するため、地域を取り巻く継続的な課題解決や安定した活動が難しいのが実情です。指標を定め「まちの目指す姿・目標」を地域住民みんなが共有し問題を解決していく足がかりにしたいと考えます。

(自治連合会)

もちつき大会に百余人

2グループに分かれて楽しむ

「わんぱくプラザ南つ子」の
人気事業のひとつ「もちつき大
会」が2月13日、志津南市民
センター（公民館）で盛大に行
われました。

この日は、子どもや地域の協
力者をはじめ、保護者ら約10
0余人が参加。予想を大きく上
回ったため、2つのグループに
分かれて「もちつき」と「マジッ
クショー」を交替で楽しむとい
うこれまでにない企画でした。

屋外のもちつき会場では、子
どもたちが小さな杵でもちをつ
いて、つき立てをちぎって大根
おろしやきな粉にまぶしてぬく
ぬくのオモチ
を味わいまし
た。

慣れない手つきで杵をもつ子どもたち



少し肌寒い
日でしたが、
初めて参加し
た若いお父さ
んたちはコー
トを脱いで、
杵を振り上げ
て「つき手」
として大活躍
傍で「杵は真
直ぐ力が逃げ
ないように」

松本さんが厚相表彰

若草三丁目の松本孝子さん
が23年にわたる民生委員・児
童委員活動と社会福祉事業の

貢献により、平成二十一年度
社会福祉功労者厚生労働大臣
表彰されました。今後またま
すの活躍を期待します。

(民児協)

明るく、楽しく学びをしめくくる



と地域の先輩から声がかかりま
す。

また、マジックショーは室内で、
アマチュアマジシャンのロープ
やスカーフを使った手品を楽し
んだあと、風船で犬を作って盛
り上がりました。

やすらぎ学級が閉講式

1年間の「やすらぎ学級」の
閉講式とお楽しみ会が3月10
日、マリアージュ彦根で開催さ
れ、多くの学級生が出席、「楽
しく、明るく学ぼう」活動を締
めくりました。

当日朝、バスで、彦根へ向か
い同所で今年度の学級年間報告
各サークル活動報告ののち、修
了証、皆勤賞の表彰などで閉講
式を終えました。

このあと、昼食を兼ねたお楽
しみ会。学級生が歌や特技を披
露、なごやかに歓談しました。

また、講師の村井
教夫さんのギター
演奏で替え歌や
「高校三年生」な
どをみんなで楽し
く大きな声で歌い
ました。

新年度の運営委
員長に和田基さん
副委員長に林茂さ
んを選出し、4月
からのやすらぎ学
級での新しい仲間
との出会いを楽し
みに、彦根を後に
しました。

たんぽぽのお別れ会



みんなそろって元気よく

卒業シーズン前の3月2日、
子育てグループ「たんぽぽクラ
ブ」が一足早く志津南市民セン
ターでお別れ会を開きました。

会場に集まった親子26人が
「1年間で随分大きくなりました
たね」とあいさつを交わしなが
ら抱っこした赤ちゃんのニコニ
コ顔に思わず参加者は笑顔を見
せていました。

「民生さん」と子どもたち
が呼びかけるのを合図に、民生
委員が登場。背景画の動物たち
の貼り絵を即席のストーリーに
仕立て話しかけました。「ぞう
さん」の歌では手を左右にふり、
かわいらしく鼻を表現するしく
さを見せました。またリーダー
の井畑さんのリードでハート型
の板に親子でパーツを作りボン
ドで貼り付けた壁飾りを完成さ
せました。

最後にリーダーからこの日で
会を退会し保育園・幼稚園へ入
園するお友達が一人ひとり紹介
されオリピックメダルのように
リボンをかけてもらい、プレ
ゼントを手に「ありがとう」と
答えていました。

やすらぎ学級生募集

志津南市民センター（公民館）
では「やすらぎ学級」の受講生
を募集しています。一年を通し
て環境や福祉、人権などの課題
学習や音楽鑑賞、館外研修など
も計画します。みんなで楽しく
学びましょう。

対象 60歳以上の市民
日時 4月から翌年3月まで
の毎月第4水曜日、
午後1時30分～3時

(全12回)

参加費 申込時に千円（受
講料六百円を含む）その他
必要に応じて個人負担とな
ります。

申し込み・問い合わせ

志津南市民センター（公民館）

こよみ

- 3月19日(金)
 - 志津南小学校卒業式
 - 8:45 志津南小学校
- 3月20日(土)
 - 町内会総会
 - (若草1丁目～若草5丁目)
 - 健康ウォーキング
 - 8:45 若草中央公園集合
- 3月21日(日)
 - 町内会総会
 - (若草6丁目～若草8丁目・岡本町西)
- 3月27日(土)
 - 若草くるみ保育園卒園式
 - 若草くるみ保育園
 - 社会奉仕
 - 8:45 若草中央公園集合
- 3月28日(日)
 - 自治連合会総会
 - 10:00～12:00
- 4月2日(金)
 - 定例健康相談日
 - 9:30～12:00 市健康推進課
 - ふれあい昼食会
 - 12:00～13:00
 - ボランティア「泉」
- 4月3日(土)
 - 若草くるみ保育園入園式
 - 若草くるみ保育園
 - 健康ウォーキング
 - 8:45 若草中央公園集合
- 4月8日(木)
 - 志津南小学校入学式
 - 8:45 志津南小学校
- 4月13日(火)
 - 地域サロン：懐メロを歌う会
 - 10:00～11:30
 - 毎週金曜日 ふれあい喫茶
 - 10:00～12:00
 - 若草第五集会所
 - 印の会場は志津南市民センター(公民館)です



へこの読み聞かせ会を開いているほか、小学校と連携してさまざまな行事にも10年以上参加しています。

中西代表ほか10人の本好きのお母さんたちが行っている読み聞かせ会は、今や志津南小学校にはなくてはならないボランティアグループといえます。

これからも、子ども達に素敵な本や楽しい本の世界を伝えていっていた

志津南小学校で始業前に絵本の読み聞かせ会を開いている「おはなしグループぽっかぽか」(中西ひとみ代表)は写真が2月13日、草津アミカホールで行われた草津市PTA大会の席上、市PTA表彰を受けました。

「ぽっかぽか」さんは毎週火曜日、志津南小学校で子ども達

「ぽっかぽか」が市PTA表彰を受ける

子どもたちを笑顔で迎える高齢者



訪問先では笑顔で迎えられる「今年も来ていました。」

その桜餅をパックにいれ、心をこめて書いた手紙を添えて、訪問先に向かいました。

桜の葉は昨春児童たちが塩漬けにしたものでべつ甲色に染まり、おもちにその香りがほんのりうつっていました。

桜餅は、児童たちが学校近くの田んぼで農家の指導を受け、田植え、秋に収穫したお米を使って作りました。また

志津南小学校5年生37人が5月に別れ2月25日、自分たちがつくった桜餅を手に地域のひとり暮らしの高齢者宅を訪問しました。

桜餅は、児童たちが学校近くの田んぼで農家の指導を受け、田植え、秋に収穫したお米を使って作りました。また

5年生が高齢者慰問

「だきたいです。これを機会に参加してみたい」と思われた方は、ぜひ一度、学校をのぞいてみてください。

志津南社会福祉協議会主催の「ふれあいコンサート」が2月21日、志津南市民センター大会議室で開催されました。写真は今回は演奏グループ「カルテットEです」の「アメージング・グレース」、「笛と湖」、「シニョベルトのセレナーデ」など12曲の美しいメロディに参加者はうっとり聞き入りました。

また、笛奏者坂井さんがいる尺八に合わせ「いい湯だな」を二つのグループに分かれ、合



ふれあいコンサート和やかに

てくれたのね、ありがとう」包みを開けて「まあ」と驚かれたり、児童たちの説明をニコニコしながら聞かれたりと和やかな交流風景があちこちで見られました。

各町内を訪ね終えた児童たちは少々興奮気味に満足そうな顔で足取りも軽く春一番が吹くなか、学校へ帰りました。(民児協)

お茶タイムでは演奏者も加わり、「コーヒー」、紅茶、お菓子を囲んで和やかに交流しました。最後に「いい日旅立ち」など、それぞれ流行した時代背景を思い出しながら参加者40余人全員の大合唱で楽しいひと時を締めくくりました。みんなで歌うとほんとに楽しくて心も温まる

と参加者も満足そうでした。草津市が4月1日から日曜・市民センターが日・祝日休館に

祝日の市民センター諸証明発行業務を廃止するに伴い、市民センター(公民館)も同日から、日曜・祝日は休館することになりました。



<22>

グリーン・サウンド・オーケストラ。GSOの「本名」である。「志津南ふれあい夏まつり」や年末の「ふれあいミュージックソン」で軽快なメロディを奏でているおなじみの地元楽団だ。

99年夏、志津南小創立10周年記念事業として校庭で行われたキャンプファイアーに「鳴り物がほしいね」という当時のPTA会長の求めに応じて、向井一裕さん(若草1丁目)らが町内の音楽愛好家の協力を得て大

GSO誕生のファンファーレでもあった。

これをきっかけに、向井さんらは楽団結成に動き出した。チラシを配り、人づてに楽器演奏を楽しむ人たちに呼びかけて自ら団長となり同年9月25日、GSOを立ち上げた。32人が集まった。翌年3月、志津南公

この時は湖南ギターアンサンブル(当時)も参加、「踊るポルポコリン」「聖者の行進」「ダイヤモンド・ヘッド」など15曲以上を演奏、わんぱくたちを大いに楽しませた。

以来10年、町内のイベントを中心に年間5、6回のボランティア演奏活動を続けているが、学生の卒業や家庭の事情などで当初30人を超えた団員も徐々に減り、現在は7人。ユニットとしての活動は難しく、舞台上に

この頃は湖南ギターアンサンブル(当時)も参加、「踊るポルポコリン」「聖者の行進」「ダイヤモンド・ヘッド」など15曲以上を演奏、わんぱくたちを大いに楽しませた。

軽音楽団 GSO

楽しくハーモニー

民館(現市民センター)で行われたわんぱくプラザの「ふれあいコンサート」に出演、ギター、ベース、ドラム、キーボードにシンセサイザー、サクソフォン、フルート、バイオリンのフル編成で約20人がデビューを飾った。

この時は湖南ギターアンサンブル(当時)も参加、「踊るポルポコリン」「聖者の行進」「ダイヤモンド・ヘッド」など15曲以上を演奏、わんぱくたちを大いに楽しませた。

以前、志津南公民館に勤め、大学のサークルでキーボード経験を持つ鶴田真理子さん(西沢川)も「娘のサククスをきっかけに加わったが、音を合わせる、ハーモニーの楽しさがすべて」と強調。和団長の「体が動く限り続けたい」という言葉に真実味がこもる。

「楽しくなければ音楽じゃない」。このキャッチフレーズを合言葉に、「七人の侍」ならぬ「七人の楽士」たちは、これからも走り続けることだろう。

「あ・うん」の呼吸で音を合わせるメンバーたち



民館(現市民センター)で行われたわんぱくプラザの「ふれあいコンサート」に出演、ギター、ベース、ドラム、キーボードにシンセサイザー、サクソフォン、フルート、バイオリンのフル編成で約20人がデビューを飾った。

この時は湖南ギターアンサンブル(当時)も参加、「踊るポルポコリン」「聖者の行進」「ダイヤモンド・ヘッド」など15曲以上を演奏、わんぱくたちを大いに楽しませた。

以前、志津南公民館に勤め、大学のサークルでキーボード経験を持つ鶴田真理子さん(西沢川)も「娘のサククスをきっかけに加わったが、音を合わせる、ハーモニーの楽しさがすべて」と強調。和団長の「体が動く限り続けたい」という言葉に真実味がこもる。

「楽しくなければ音楽じゃない」。このキャッチフレーズを合言葉に、「七人の侍」ならぬ「七人の楽士」たちは、これからも走り続けることだろう。

確定申告に30人
市役所のほか、市民センターなど市内の10カ所ですべて市・県民税と確定申告の「お出かけ相談」を受け付けましたが、2月26日に行われた志津南市民センター(公民館)では約30人が、税申告の手続きを済ませました。

折々の記

2月から地域の公園すべてで犬を連れて入ってはならないことになった。「立ち入り禁止」の最大の理由はフンの放置にあるという。いわゆる「幼児や子どもが遊ぶ環境を清潔に」「雑草刈りの際にフンが機械にからむ」などなど。いずれももつともな話である。ただ、町を歩いていてフンが目立つのは公園園内より歩道を含む道路沿いの方が多いような気がする。高齢化が進み、地域内でも自立が増えてきたお年寄りがペットを連れて散歩している姿には伴侶としての慈しみがにじみ出ている。公園のベンチに腰をかけ、陽だまりの中で膝の上の犬に話しかけているお年寄りは笑みをたたえ、とても満足そうだった。

犬の憂鬱

しかし、そう取り決めたのだから順守せずばなるまいと、心に言い聞かせているが、ひとつ教えていた「立ち入り禁止」は解除されることがあるのかどうか、ということである。もし、あるとすれば、その条件は何か。解除されることはないというなら、それはそれで少々乱暴な話ではないか。今回の決定にあたって、そんな話はないのか。 (志津南のへんくつ)

代表 和田 一
役員 7人
活動 毎週日曜日
午前9時30分から
約3時間
志津南小学校で
会費 年額5000円
連絡先 和田代表 電話090
(5046)6113
(おわり)